

2018年12月14日

英国の欧州連合からの脱退(ブレグジット)の信用格付への影響について

ダブリンを本拠地とするアイルランド企業である S&P Global Ratings Europe Limited (SPGRE) は、規制 (EC) No.1060/2009 (その後の改正を含み「規制」といいます。) に基づき、信用格付機関 (CRA) として、欧州証券市場監督局 (ESMA) に登録されています。規制および関連する法律に基づき、ESMA に登録された信用格付機関が付与し、または承認した信用格付は、EU において一定の規制目的のために利用することができます。

英国が EU からの離脱 (ブレグジット) を 2016 年に決定して以降、S&P グローバル・レーティングは、英国および EU 域外のその他の国で S&P グローバル・レーティングが付与した信用格付が、ブレグジット後も引き続き EU の規制目的で利用できることを確保するために尽力してまいりました。この理由から、S&P グローバル・レーティングは先ごろ、EMEA で業務を展開していた S&P グローバル・レーティングの多くの法人をダブリンを本拠地とするアイルランド企業である S&P Global Ratings Europe Limited (SPGRE) に合併しました。S&P グローバル・レーティングのロンドン、モスクワ、ドバイおよびヨハネスブルグのオフィスにおいて行われていた信用格付業務は、現在 SPGRE が現地の支店を通じて行っております。S&P グローバル・レーティングはまた、フランクフルト、マドリード、パリ、ミラノおよびストックホルムでの格付業務も SPGRE に合併し、現在それらの業務も現地に所在する SPGRE の支店を通じて行われております。

S&P グローバル・レーティングの信用格付が、英国における将来の新たな CRA 規制の下においても規制目的のために利用可能であることを確保するため、S&P グローバル・レーティングは新たな CRA (英国 CRA) を設立して、英国金融行動監督機構 (FCA) に登録する手続きを進めております。英国 CRA は、自ら信用格付を付与するだけでなく、SPGRE が付与した信用格付および承認可能な法域に所在する S&P グローバル・レーティングのその他のオフィスが付与した信用格付の承認を行う予定です。英国 CRA が付与した信用格付の EU の規制目的での利用については、ESMA と FCA との間で覚書 (MoU) が採択されることが条件となります。2018 年 11 月 9 日に ESMA は、2019 年 3 月末よりも十分前に MoU が採択されているようにするため、FCA との交渉を開始する予定であると発表しました。